

小野市の加古川河床で発見された神戸層群の木材化石



自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

半田 久美子

加古川に木材化石があるとの情報を市民の方からいただき、調査を行なっています。木材化石は大きいもので長径20cm程度で、根は確認できていません。化石の入っているのは神戸層群で、およそ3800万年前に堆積した地層です。

木材化石のうち珪化木は硬く風化しにくいいため、転石の状態で採集されたり、開発工事の際に発見されることが多く、どのような地層に埋まっていたか分かることが少ないです。今回のように地層に入った状態で観察できるのはたいへん貴重と言えます。

堆積物から当時の環境を推定すると、扇状地末端で、流路でレキ層が堆積し、砂州のような高まりに植生が侵入したようです。木材化石の下位の複数の層準から地層面に水平に横たわる木材も発見されました。根株の可能性を検討すべく調査を進めています。

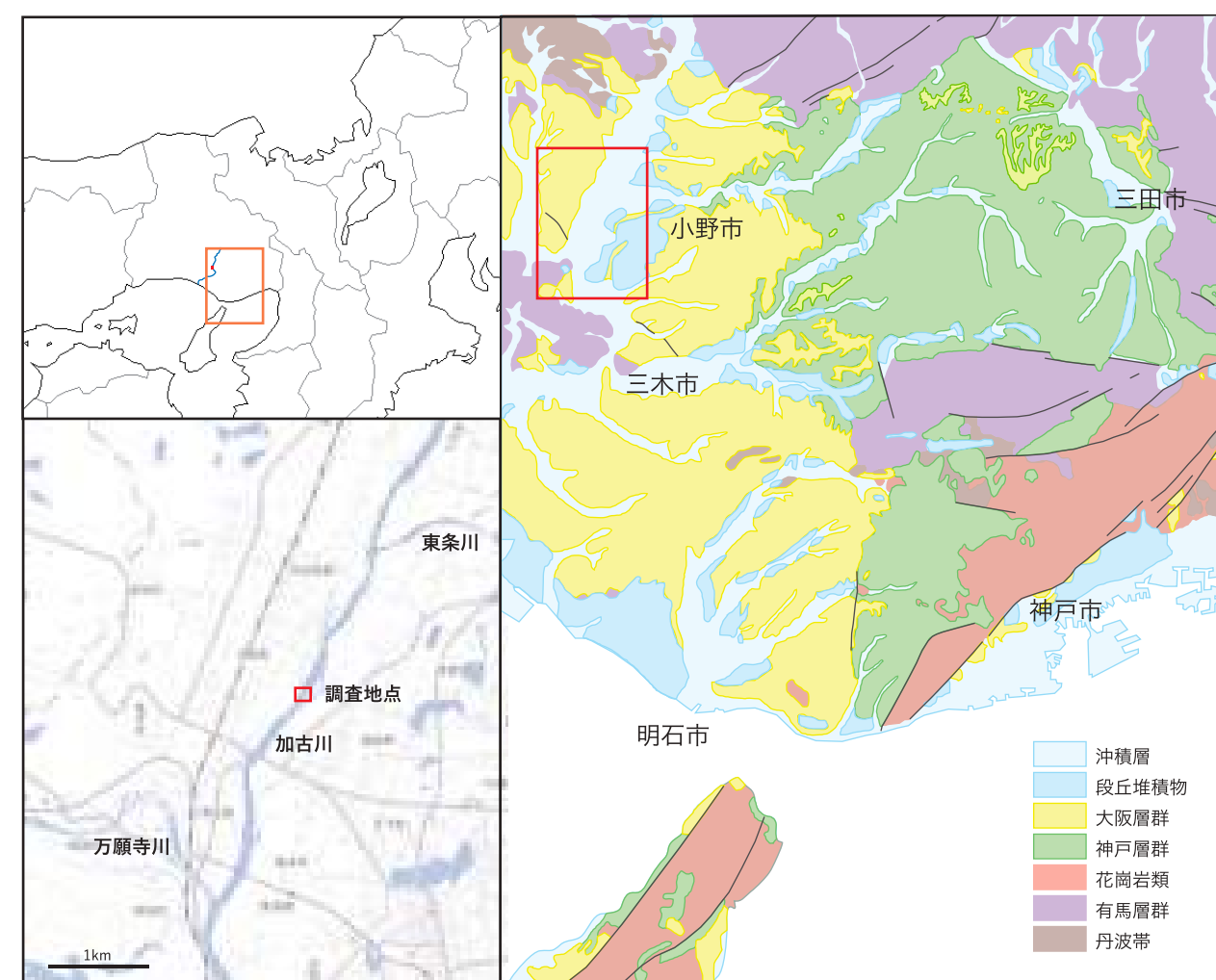


図1 調査地点の位置と地質図



図2 木材化石の産状 左：木材化石1 中：木材化石2 右：木材化石3



図3 木材化石3 左：地層面に対して傾いている 右：年輪の面（木口）の拡大写真



図4 倒木/根材 31 の産状

図5 倒木/根材 17 左：産状 右：実体顕微鏡写真